

2012年11月4日 (第151号)  
 発行所 カトリック高松司教区 広報委員会  
 〒760-0074 高松市桜町1-8-9  
 TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484  
 Email  
 教区: catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp  
 広報: tk-koho@mx1.netwave.or.jp  
 生涯養成: yousei@takamatsu.catholic.ne.jp  
 WEB://www.takamatsu.catholic.ne.jp/



# カトリック高松教区報

マザー・テレサの言葉  
 生活に  
 祈りを持つように  
 祈らば  
 心が澄み、  
 心が澄めば、  
 神が見えてきます。

## 高松教区司祭 下田武雄師惜しまれ逝く

8月12日に逝去された下田武雄師のお別れ会が9月12日に桜町聖母幼稚園主催で行われた。それに続き高松教区として納骨ミサと納骨式を地下聖堂納骨堂で行った。また23日(日)に諏訪司教区式による追悼ミサがあり一連の追悼を終えた。



### 司牧者、教育者としての下田神父様と共に

桜町教会 谷本千佳代

下田神父様は第2バチカン公会議の精神で司牧に専念してこられました。司教様の教えに忠実に従い、私たち信者がキリスト者としていかに人を愛し、聖霊の導きを信じて霊的に成長していけるかを探求し続けられた方だと思えます。

「信徒が救いの喜びの中に居る時ほど、司祭としての心の癒めはないよ」



お別れ会で聖書朗読する谷本氏

「神父様でも回心が必要なのですか、もう十分回心されておられますよ」と、笑ってお応えしながら、なんと謙虚で神様に忠実な方だろうと思えました。

桜町幼稚園がモンテッソーリ教育の縦割り保育を採り入れる時、私は神父様からこの幼稚園へ呼ばれました。まだまだ子どもにも接しているか、職員を連れて九州や広島へと見学に出かけました。おかげで私たちが新しい目標に向かって新鮮な気持ちで取り組んでいくことが出来た。桜町幼稚園を日本一の幼稚園にしようね」と、いつも励まし続けて下さいました。



司教館地下納骨堂へ納める

と、いつも語りかけて下さって下さいました。下田神父様と過ごさせていた日々を思い返すと、私は救いの喜びをいただいた貴重な恵みの時であったと感謝しております。今では神父様が大変尊敬しておられたマリア様の腕の中で、司祭職を全うされた生涯を称賛され、真の安らぎを得ていらつしやることでしょう。そして愛する信者たちや幼児教育者たちのためにお働き下さっていることと強く思っています。

下田神父様の永遠の安らぎを心よりお祈り申し上げます。

## 高松教区最優先課題

### 青少年委員会のこれからの歩み

名称は、教区レベルでは青少年委員会、地区レベルでは青少年チームと呼ぶこととしました。

現在の協力司教司牧態勢の中で、今まで活動していた人が何らかの理由で活動できなくなっている場合、それ以降の活動が難しくなる。今後、今後は教区レベルでの動きも大切にして、地区・ブロック単位で動いていくことに重点を置くようにします。

地区2つ、ブロック5つ、それぞれに担当聖職者が司教から任命されています。地区・ブロックの青少年チームメンバー(以後チームメンバー)選出や人数は担当聖職者に一任されており、そのチームメンバーに青年が入ることが望まれます。

各地区・ブロック担当聖職者は以下の通りです。

- 【東讃ブロック】レナト・F 神父
  - 【西讃ブロック】シスター高松智子
  - 【土屋和彦神父】シスター加藤芳恵
  - 【中予ブロック】川上栄治神父
  - 【シスター佐々木裕子】シスター佐々木裕子
  - 【セコ・パウロ神父】セコ・パウロ神父
  - 【南予ブロック】岩崎武神父
  - 【徳島地区】林和則神父
  - 【高知地区】ブラザー八木信彦
- 年に4回、各県持ち回りで青少年委員会が開かれています。各地区・ブロックから最低一名が青少年委員会に参加するようにしています。委員会が始まる前に食事(昼食)を共にすることを大切にしています。食卓を皆で囲んだ後でミーティングに臨むことは、その内容にとっても良い影響を及ぼすことがわかってきました。また、教区宣教司牧評議会や司祭評議会ともつながっていることも忘れないうち努力しています。



ある地域ではほとんど教会のメンバーはほとんどが外国人。日本の教会はインターナショナルな教会になっている。教会学校や青年会というときには日本人の集まりではなく、ダブル二世と言われる若者の成長に関わっていかねばならない。行事のプログラムを作成するときには、このダブル二世の子どものことも視野にいれなければなりません。

ブラザー八木信彦

## 信仰年に寄せて③

宇和島教会担当司祭 田中正史

いよいよ10月11日から特別年の「信仰年」が始まりました。この「信仰の門」という表現は使徒言行録14章27節から引用された言葉です。以下は教区報150号からの続きです。

### 信仰の門は信仰によってのみ開かれる

### 聖パウロから学ぶ

「癒されるのを見つめて」

「癒されるのを見つめて」信仰があるのを認めて(14・9)、「自分の足でまっすぐに立ちなさい」と声をかけてその男を癒しました。使徒言行録を

た奇跡です。この奇跡は癒された男のためだけでなく、パウロ自身にとっても信仰の力によってどのようにその人の人生の中で「信仰の門」が開かれていくのかを目撃させられた出来事であったはず。

自身心の喜びの源がまさに福音が告げ知らせる神に他ならないことを示して、彼らが崇めていた神々の真の名前を明らかにすること(14・17)、彼らに「信仰の門」を開くことができるようです。パウロが神の出来事として「信仰の門」を経験するときには常に他者と共にくぐっていることに私たちは注目する必要があります。

私たちは毎日「信仰の門」をくぐり直さなければならぬのかもしれない。しかもこの「信仰の門」には一人だけ入ることにはできないようです。パウロが神の出来事として「信仰の門」を経験するときには常に他者と共にくぐっていることに私たちは注目する必要があります。

たえ私たちが孤独の中で「信仰の門」を一人くぐっているように思えても、そこには私たちの人生のすべてにおいて同伴してくださっているキリストが確かにいてくださいます。

「信仰の年」が始まりました。信仰の目で自分の人生を振り返り、神様の存在、愛、働き、召命について黙想し、信仰の恵みを感じながら、また新たな一歩を踏み出す年でもあります。

「地区・ブロックの中で子どもたちや青年たちのネットワーク作りをしてほしい。少子化の問題もあり、難しいことは分かっているが続けてほしい。それぞれの教会にいる在日外国人のことが気になる。この子どもたちが日本の中で元気に生きている訳ではない。いじめられている場合もある。勉強が嫌いな場合もある。日本で将来どうするか、というところが見えてこない。高校に進学しても続けられないかもしれない。自分はどうしたらいいのか

「信仰の年」が始まりました。信仰の目で自分の人生を振り返り、神様の存在、愛、働き、召命について黙想し、信仰の恵みを感じながら、また新たな一歩を踏み出す年でもあります。



ANNO FEDE 2012-2013

「癒されるのを見つめて」信仰があるのを認めて(14・9)、「自分の足でまっすぐに立ちなさい」と声をかけてその男を癒しました。使徒言行録を

「癒されるのを見つめて」信仰があるのを認めて(14・9)、「自分の足でまっすぐに立ちなさい」と声をかけてその男を癒しました。使徒言行録を

「癒されるのを見つめて」信仰があるのを認めて(14・9)、「自分の足でまっすぐに立ちなさい」と声をかけてその男を癒しました。使徒言行録を

「癒されるのを見つめて」信仰があるのを認めて(14・9)、「自分の足でまっすぐに立ちなさい」と声をかけてその男を癒しました。使徒言行録を

「癒されるのを見つめて」信仰があるのを認めて(14・9)、「自分の足でまっすぐに立ちなさい」と声をかけてその男を癒しました。使徒言行録を

「癒されるのを見つめて」信仰があるのを認めて(14・9)、「自分の足でまっすぐに立ちなさい」と声をかけてその男を癒しました。使徒言行録を

「癒されるのを見つめて」信仰があるのを認めて(14・9)、「自分の足でまっすぐに立ちなさい」と声をかけてその男を癒しました。使徒言行録を

「癒されるのを見つめて」信仰があるのを認めて(14・9)、「自分の足でまっすぐに立ちなさい」と声をかけてその男を癒しました。使徒言行録を

「癒されるのを見つめて」信仰があるのを認めて(14・9)、「自分の足でまっすぐに立ちなさい」と声をかけてその男を癒しました。使徒言行録を

「癒されるのを見つめて」信仰があるのを認めて(14・9)、「自分の足でまっすぐに立ちなさい」と声をかけてその男を癒しました。使徒言行録を

「癒されるのを見つめて」信仰があるのを認めて(14・9)、「自分の足でまっすぐに立ちなさい」と声をかけてその男を癒しました。使徒言行録を

「癒されるのを見つめて」信仰があるのを認めて(14・9)、「自分の足でまっすぐに立ちなさい」と声をかけてその男を癒しました。使徒言行録を

「癒されるのを見つめて」信仰があるのを認めて(14・9)、「自分の足でまっすぐに立ちなさい」と声をかけてその男を癒しました。使徒言行録を

「癒されるのを見つめて」信仰があるのを認めて(14・9)、「自分の足でまっすぐに立ちなさい」と声をかけてその男を癒しました。使徒言行録を

小教区紹介

新居浜教会 (愛媛)

カトリック新居浜教会は、1937年(昭和12年)に住友の關係で来日した。午後からは会場を愛していたドイツ人技師に光幼稚園講堂に移し、祝賀会が開かれました。75年間の歴史をスライドショーで振り返ったり、参加者全員で聖歌を歌うなどして、75周年を共に祝いました。

喜びのうちに創立75周年祝う



創立75周年は、新居浜教会にとって一つの区切りとなるものです。信徒の高齢化が進んでいますが、それぞれが力を出し合い新居浜教会らしい記念式になったのではないかと思います。なかでも中高生の活躍と新しいオルガニストが加わったことは、今後に向けての芽吹きを感じさせるものでした。これからも祈りと共に豊かな分かち合いのある教会共同体を目指し、100周年のときにも教会の素敵な鐘の音を響かせていたいと思います。

しかも新居浜市もこの年に市政をスタートさせています。新居浜教会と新居浜市とは同級生ということになります。住友の企業城下町として発展してきた新居浜市ですが、教会も1953年(昭和28年)に現在の新居浜教会が完成、1961年(昭和36年)には愛光幼稚園が誕生するなど市の発展と共に隆盛し、新居浜の街に教会の鐘の音を響かせてきました。

2012年9月22日

(十七)、カトリック新居浜教会にて創立75周年記念ミサが使徒ヨハネ誹訪榮治郎司教様の司式により執り行われました。神父様、シスターをはじめ各小教区からも参加をいただき、100名以上の皆



誓願宣立60年人々と共にお祝いいたします



さわやかな秋晴れに恵まれた10月6日、聖母被昇天会のSr.エンシーナの誓願宣立60周年記念ミサを行った。誹訪榮治郎司教様司式、カンバラ、ホルヘ両神父様の共同司式のもと、四国各地、また、関東、阪神地区から駆け

ちょっとひといき

詩 唇に詩を持って

唇に詩を持って  
宮沢賢治の言ったこの言葉が  
ほくはとつても好きです  
その詩が・・・



ああ唇に詩を持って  
そうすれば明日  
胸に吹く哀しみなんて  
もう、秋風に乾いた音ぐらいいにしか  
ほくにもあなたにも聞こえなくなるよ  
ゆっくりとのぼるよ  
そればかりかその次の日には  
でっかいすべてを照らす  
イエズスと言う太陽が  
ほくの胸にも  
あなたの胸にも  
ゆっくりとのぼるよ



Sr高松常子

付けた多くの方々と共に盛大に祝った。  
Sr.エンシーナはスペインのレオン県出身で、1952年、フランスのフォルジュで初誓願、終生誓願も1955年に同所で宣立し、1964年クリスマスに来日。箕面で17年、丸亀で8年、西成で14年、現在高松で7年目を迎えている。  
Sr.エンシーナはいつも多くの人と協力し、病める人、孤独な人、移住者、刑務所訪問などを通して福音を伝えている。これは周りの人々の協力の賜物です。  
これからはSr.エンシーナの人々への温かい思いと周りの方々の協力が豊かな実をもたらしますように。

積極的典礼参加を探る 全国典礼担当者会議(9/3~5)

今年も御聖体の宣教クララ修道会暨井沢修道院で全教区から典礼担当者が一堂に会し、信徒の積極的な典礼参加の形とその実現を探るための分かち合いのひと時を持った。今年のテーマは「典礼への参加」。



第2パチカン公会議を語る國井健宏師

折しも「信仰年」を迎える私たちカトリック信者が目指すべき典礼の頂点であり信仰の源泉であるミサ典礼に積極的に参加するための環境を、如何に準備できるかについて、聖霊の助けのうちに分かち合うために日本の全教区から担当者が集った。  
まず、信徒の典礼参加に関する事例報告(横浜・大阪・長崎教区)が行われ、それぞれの地域性に応じた典礼への取り組みが報告された。  
最後に「司教儀典書」に基づく司教司式ミサ典礼の解説を受け、司教司式典礼が教区での典礼の規範であり模範となることが強調され、教区内での典礼が主の愛と威光を

が報告された。  
また、19世紀から細々と始まっていた信徒のミサ参加探求の歴史とそれらの地道な積み重ねが第2パチカン公会議において典礼憲章として大きく実り、力となったことを学び、教会が聖霊の導きの中で常に育まれていることを改めて確信させられた。  
予め各教区典礼委員会が提出していた典礼参加についての取り組みの報告を受けて、それぞれの教区が抱えている問題点と積極的取り組みへの活動についての共通認識を深め、これからの教区における典礼参加への気づきを与えられた。  
表す素晴らしい典礼となるよう努力することの大切さを再認識させられた。以上の事柄については教区典礼委員会の活動によって教区の司祭、信徒に紹介される生かされるよう配慮されることになる。  
谷口広海

2012年 高松教区修道女連盟・総会・研修会  
聖書理解へのアプローチと  
教区の優先課題・青少年司牧を学ぶ  
9月29日(土) 高松四国カトリック会館を会場として高松教区修道女連盟総会が実施された。  
46名の参加でした。  
10時半開会で、研修会は西川康廣助祭による「聖書理解へのアプローチ」というテーマで、1時間半の講話。シスター全員を魅了する語り口と豊かな内容で、あつという間に過ぎてしまいました。  
西川助祭の30年余りの伝道師と助祭を合わせた40年の豊かな経験と度重なる聖地巡礼により、伊

エスの生きられた土地に立ち、歩いて祈る中で得られた貴重な体験に基づくもので、聖書のそれぞれの場面を思いながら伺うことができました。昼食は退院後間もない誹訪司教様をお迎えし、ご一緒にお弁当をいただく喜びのひとときでした。  
午後は校町教会聖堂へと移動し、誹訪司教様のご挨拶があり、その中でダイナミックメモリーの説明、また四国の教会における青少年司牧でダブルの子どもたちにとって教会はどうあるべきかを考えなければならぬ時期に来ていると訴えられたことは、とても切実な問題として受け止めました。  
続いて修道女連盟年次総会があり、その後、村上康助神父様司式のミサで感謝のうちに各自の奉獻を新たに、高松教区民と共に神の国のために生きる者であることを自覚した一日でした。  
北条 Sr神林直子

ひと フィリピン共同体のまとめ役 池田教会 西岡マリンさん



四国のヘソといわれる三好市池田町にある池田教会、日曜日のミサに集まるのはフィリピン人とその子供達です。その15人位を束ねているのが西岡マリンさんです。ロメオ神父様がフィリピンに帰省中は教会の鍵を預かり、花の世話等引き受けている。

フィリピン人にとって、思いっきり自由にお国言葉を話したり、心がスーとする神様のお恵をいただいたりと、ミサ後はどの人も笑顔いっぱいである。

そして池田町に移り住んで5ヶ月余りの私達夫婦も暖かく迎えてくれる和気あいの雰囲気を出してくる人柄も嬉しい限りである。

主日の11時のミサの後は、お茶など飲み物、サンドイッチ、おにぎりは勿論、時々いろいろなフィリピン料理でミニ食事を開いている。9月には豚の頭の丸焼き、ゆでバナナなどで、マリア様の誕生日をお祝いした。

ミサは、日本語、英語、タガログ語で行われている。

池田教会 住吉 才子

今年の夏休みは徳島教区に派遣されて過ごしました。徳島教会の皆さんの暖かい思いやりの中で貴重な経験をさせていただきました。  
夏休み期間中は「徳島家族キャンプ」阿波踊りを含めた「歌って踊って平和を語ろう」、校町司教座で開かれた「第1回召命のキャンプ」と「広島市の平和巡礼」などに参加し、神学校編入後初めて迎える夏休みを皆さんの暖かい心と思いやりの中で意義深い経験をさせて頂き、心から感謝しております。

神学生便り 信仰と召命を深めたい



サレジオンシスターズ湯布修道院

福岡神学校に戻り生活しています。10月には「信仰年」が開幕し、それに合わせて

神学校では、10月3日に教皇大使の神学校訪問とミサがあり、10月11日には梅村司教様の司式で「信仰年開幕ミサ」が行われました。そして11月には福岡キャンパスでの召命の集いと東京キャンパスでのサベリオ祭も予定されており、信仰と召命を深める後期になると思っています。  
忙しい日程の中にも喜ばしい後期を過ごせますように、皆様にも多くのお祈りを願います。  
神学科2年 宋神学生



続いて修道女連盟年次総会があり、その後、村上康助神父様司式のミサで感謝のうちに各自の奉獻を新たに、高松教区民と共に神の国のために生きる者であることを自覚した一日でした。  
北条 Sr神林直子

召命黙想会のご案内

聖ドミニコ宣教修道女会  
テーマ：神様との絆を求めて

日時 11月23日(金)PM2:00から25日(日)朝まで  
場所 聖ドミニコ宣教修道女会本部 ロザリオ修道院  
参加費 3000円(〒664-0892 兵庫県伊丹市高台5-28)  
対象 高校生から35歳までの独身女性  
申込みシスター小島 ■(072)782-2548 F(072)784-7615



神を観想し、その実りを人々に伝えよ 聖ドミニコ宣教修道女会

# 平和への祈り

戦争の傷と領土問題を抱える世情にあって、8月に松山教会で行われた教区人権委員会が主催する「平和を祈るミサ」と松山教会主催による「平和を語りつぐ会」を特集した。

## 松山教会で諏訪司教司式 「平和を祈るミサ」 平和は ほほえみから 始まる

高松教区では、毎年平和と祈るミサが、ヨハネ・パウロ2世の広島での平和祈りの祈りに始まった。今年からは司教座聖堂の桜町教会で行われていたが、今年から司教座が各教会へ出向いてくださることになった。

その「平和を祈るミサ」が、8月12日松山教会に於いて、諏訪榮治司教様の司式によって執り行われ、今年からは、毎年平和と祈るミサが、ヨハネ・パウロ2世の広島での平和祈りの祈りに始まった。今年からは司教座聖堂の桜町教会で行われていたが、今年から司教座が各教会へ出向いてくださることになった。



子供達の平和への思いを掲げて

地球は神秘的で神々しかった。その美しさに平和を築いていくためには、考えや文化の違いなどで対立するのはなく、お互いが違いを認め合い受け入れあっても生きていくことへの努力が、地球人である私たちに求められていることを心に刻みたい。

### 市民の関心高いテーマ

9月下旬のある朝、新聞の天気予報の欄に目をやると、日本の南海上に台風マークがあるではないか。いやな予感的中、平成24年9月30日、台風は四国に最接近した。幸いにも、公共交通機関にも大きな乱れはなく、市民公開講座の開催は可能と判断した。マルチン病院からのスタッフ13人が開場12時30分、開演13時に遅れないよう、あぐせくと準備に奔走し、12時前には何とか格好をつけることができた。

12時を過ぎた頃からパラパラとスタッフ以外の方々の姿がロビーに見受けられるようになった。そして、12時20分頃には次々と波のように人々が押し寄せ、スタッフは受付業務に奔走しつつも安堵の表情を浮かべた。同時に、台風の真ただ中何故？という疑問が私の頭をかすめる。今回のテーマは「ホスピス・緩和ケアとは」と同時に、台風の真ただ中何故？という疑問が私の頭をかすめる。今回のテーマは「ホスピス・緩和ケアとは」と同時に、台風の真ただ中何故？という疑問が私の頭をかすめる。

第2次世界大戦の終結から67年経ち、今日の平和な日本では、かつての戦争の姿を知ることなく育った若い世代が増え、松山教会の社会活動委員会が企画して、広島市の平和行事に参加し、被爆者の証言を聞き取った。



分かり易く語る藤原氏

部が戦火の記憶を語り、参加者が多く、この会を継続していくことの大切さを実感しています。更に来年には第3回目の開会を予定しています。

食料を調達してくれたこと、その中に米軍の機銃掃射を受けたつも間一髪危機を逃れた体験について、4人目の方は、勝利の見込みすらないままに戦争を続けていた当時の日本の愚かさについて話をされました。

### 戦争は恐ろしいこと

私はドラマやドキュメントなどで戦争のことは知っていましたが、敵も味方も一般人も兵隊もみんな死んでしまう、そんな恐ろしい戦争がこの松山でも起こっていたと、実際に身近に体験を聞いたのは初めてで、とても心に残りました。

私達戦争を感じたことのない若者が、こういった会で、色々なことを知っていくことは大切なことだと思います。世界中の戦争、紛争の全てがなくなる日が訪れることを願っています。



熱心に聴き入る人たち

### 若者たちに平和の学びを

戦争を語りつぐ会 松山教会

火災と爆撃を避けて姉と2人きりで川に辿り着いた時、一緒に逃げようとして手を引いてくれた男性が、次の瞬間には頭部に焼夷弾を受けなくなっていた事などを、涙ながらに話していました。当時の彼女が、極限状態の連続の中、神様の助けを願って求めたそうです。

### 松山でも空襲あった

僕は広島出身なので原爆体験や戦争体験のお話を聞く機会が多くあります。どのお話も、皆さん体験が違って、皆さん

家族と最期を迎えたい

第一部の三豊総合病院ホスピス長・院長の白川和豊先生には「消化器癌の患者さんを支える。三豊総合病院緩和ケア病棟での経験から」と題して御講演をいただいた。その中で、亡くなった方の御家族が私もここで最期を迎えたいというようにホスピスを目指すという言葉を聞いたのが大変印象に残っている。実に理解しやすく、明日からでも実践できることであり、改めてそのことを肝に銘じた次第である。

原爆投下直後の悲惨な状況はもとより、被爆された方々の苦しみは私たちが想像をはるかに超えています。証言者は戦争のむごさを伝えて行くことが、被爆した自分の使命だと思われているように感じました。その証言を聞いて開催し、4名の語り

3人目の方は、お母さんが大切な着物と交換に

あと同じく、質疑応答で司会の香川大学医学部名誉教授の西岡幹夫先生が、この点についてどう返答するのがベストかと鋭い質問をされた。残念ながら、この時、私の頭は閉会のあいさつで何をしゃべろうかとそのこととでいっばいであり、2人の先生の熱いやりとりは左から右に抜けていた。

以上、本市民公開講座に対する感想を医師として述べたが、今回の本場の主役は市民の方々である。

医療のともしび (35)

マリアさまとともに52年

私は、1959年7月21日香川県坂出市で眼科を開院いたしました。開院2か月前の聖霊降臨の祝日に、

開院以来50有余年、神様とマリア様に守られ導かれ、4人の子供に恵まれ、2人は眼科医になりました。

地域の人に「最善の医療を最適の環境で」をテーマに、「神様よりの賜」に磨きをかけることに日々努力し、さらに謙虚であるように、自分の能力を過信しないこと、そして神様を信じ励んでおります。

神様が創られた美しい世界が見えるのも、巡り合う人々の優しい笑顔が見えるのも、戴いた目が健康だからです。情報の80%は目から入ってくる

白内障、緑内障、網膜剥離、加齢性黄斑変性症、糖尿病性網膜症等々、治療が遅れると失明する事もあります。異常を感じた場合は早く受診を。また高血圧症、糖尿病の方は自覚症状がなくても定期検診を受けられることをお奨めします。

5年前から、毎月第2、第4金曜日に自宅で聖書の勉強会を始めました。新約聖書を2章ずつ声を出して共同読書し、自分の照らされたこと、感じたこと、疑問点を率直に表し意見交換をしています。

今年、私は90才になりました。90年前に命を授かり今ここに生かされていることは私への賜です。しっかりと胸に刻み、お側に呼んで下さる日まで御摂理のままにと、お祈りをしております。

高松教区の皆様の上に神様のお恵みが豊かにありますようにお祈り申し上げます。小さな私の為にもお祈りください。

カトリック坂出教会 モニカ 永原美智子

教区スケジュール

- 11月
1日(木) 諸聖人(祝)
2日(金) 死者の日
3日(土) 文化の日
4日(日) 年間第31主日「教区民の集い」(香川地区)
7日(水) 司祭評議会 12:00
10日(土) 聖レオ1世教皇教会博士(記)
11日(日) 年間第32主日「教区民の集い」(徳島地区)
18日(日) 年間第33主日 聖書週間(〜25日) 青年の集い(高知 17〜18)
21日(水) 聖マリアの奉獻(記)
22日(木) 聖セシリア乙女殉教者
24日(土) 宣教司牧評議会役員会 13:00
25日(日) 王であるキリスト
30日(金) 聖アンデレ使徒(記)
12月
2日(日) 待降節第1主日 宣教地司祭育成の日(献金)
3日(月) 聖フランシスコ・ザビエル司祭(祝) 一粒米ミサ・会議 10:00
5日(水) 司祭評議会 12:00 (溝部修司教霊名日)
8日(土) 無原罪の聖マリア(祭)
9日(日) 待降節第2主日
13日(木) 聖ルチアおとめ(記)
16日(日) 待降節第3主日
23日(日) 待降節第4主日
25日(火) 主の降誕(祭)
26日(水) 聖ステファノ殉教者(祝)
27日(木) 聖ヨハネ使徒福音記者(祝) 諏訪榮治郎司教霊名日
28日(金) 幼子殉教者(祝)
30日(日) 聖家族の祝日

TSC便り

大船渡ベースのつぶやき

10月中旬から、ボランティアさんが激減します・・・。特に男性がいない日も・・・。



寄り添い談笑するボランティア

お米券引き続きキャンペーン中！お米券の場合教区事務局へ直接郵送されるか持ち込んでください。現金の場合下記へ振り込み願います。郵便振り込み：カトリック高松司教区

01650-7-13208

も良いのだ。ただ此処に、被災者の横に立てば良い。共同体の一人として共に汗を流し、共に遊び、共に食べて、時を共にする。年齢も性別も関係なく肩書きもいらない。神に造られた者としてただ神の手足となるだけ。

復興までには、まだまだ時間がかかり遠く先が見えない。仮設住宅に住む被災者の生活もこの先を決して約束されたものではない。今日を只ひたすらに生きている被災者に揺らぎ無い安心をもたらし、私達はどのように祈れば良いのか。あの絶望の時に一歩を踏み出した勇気が着実に希望へと向かわせている。そう信じて帰路に着いた。

そして今、何となくこの言葉を反芻している。「信仰とは現実に共感すること。不条理に感受性を持ち、不条理に抵抗すること。(大船渡教会・森田神父様の説教より)」

松山教会 越智のふ代

まだ時間がかかり遠く先が見えない。仮設住宅に住む被災者の生活もこの先を決して約束されたものではない。今日を只ひたすらに生きている被災者に揺らぎ無い安心をもたらし、私達はどのように祈れば良いのか。あの絶望の時に一歩を踏み出した勇気が着実に希望へと向かわせている。そう信じて帰路に着いた。

そして今、何となくこの言葉を反芻している。「信仰とは現実に共感すること。不条理に感受性を持ち、不条理に抵抗すること。(大船渡教会・森田神父様の説教より)」

松山教会 越智のふ代

まだ時間がかかり遠く先が見えない。仮設住宅に住む被災者の生活もこの先を決して約束されたものではない。今日を只ひたすらに生きている被災者に揺らぎ無い安心をもたらし、私達はどのように祈れば良いのか。あの絶望の時に一歩を踏み出した勇気が着実に希望へと向かわせている。そう信じて帰路に着いた。

そして今、何となくこの言葉を反芻している。「信仰とは現実に共感すること。不条理に感受性を持ち、不条理に抵抗すること。(大船渡教会・森田神父様の説教より)」

松山教会 越智のふ代

まだ時間がかかり遠く先が見えない。仮設住宅に住む被災者の生活もこの先を決して約束されたものではない。今日を只ひたすらに生きている被災者に揺らぎ無い安心をもたらし、私達はどのように祈れば良いのか。あの絶望の時に一歩を踏み出した勇気が着実に希望へと向かわせている。そう信じて帰路に着いた。

そして今、何となくこの言葉を反芻している。「信仰とは現実に共感すること。不条理に感受性を持ち、不条理に抵抗すること。(大船渡教会・森田神父様の説教より)」

松山教会 越智のふ代

まだ時間がかかり遠く先が見えない。仮設住宅に住む被災者の生活もこの先を決して約束されたものではない。今日を只ひたすらに生きている被災者に揺らぎ無い安心をもたらし、私達はどのように祈れば良いのか。あの絶望の時に一歩を踏み出した勇気が着実に希望へと向かわせている。そう信じて帰路に着いた。

そして今、何となくこの言葉を反芻している。「信仰とは現実に共感すること。不条理に感受性を持ち、不条理に抵抗すること。(大船渡教会・森田神父様の説教より)」

松山教会 越智のふ代

私たちが小さな教会 M4四国COMミーティング
去る9月29日(土)〜30日(日)と、2日間に亘っての、スケジュールをME(マリッジ・エン・カウンター)特有の心温まるひと時として、無事に終えることが出来ました。

この集いへのご理解とご協力に、諏訪司教様をはじめ各小教区、関西、関東からの6組のカップルが参加をして頂きました。事等々、心からお礼申し上げます。

今回の集いは、来年2泊3日のWE(MEウィークエンド)を四国COMミーティングが主催するに当たり準備として行いました。初参加者の方からは感動として、好感の言葉を頂きました。信仰年に入りましたが、司教様が入りました。

東かがわ霊性センター(仮称:かぜの丘)開設のお知らせ



高松教区立国際神学校(レデンプトリス マーテル)が閉校となり、2年余の管理を経て、「東かがわ霊性センター(かぜの丘)」として新たに開設いたしました。

瀬戸内海に面した三本松の地、みどりの豊かな丘にあり、心身共にさわやかな一時をおすごしいただけるのではないかと、皆さまにご利用いただきたくご案内申し上げます。

青少年活動、教会学校キャンプ、ボーイ(カブ)スカウト、青年たちの集会 また地区活動など、グループ活動の場として、さらにグループ黙想会、研修、養成コースなど霊的な集いなどに広くお使いいただけたらと思います。

ただ、十分整った施設というのではございませんので、できるかぎりグループの自主性とアイデア、そして奉仕の精神のもとでお使いいただけたら幸いです。

申し込み、問い合わせなど詳細は高松司教館事務局にご連絡下さい。TEL 087-831-6659 Fax 087-833-1484

編集後記
今10月11日から信仰年が始まりましたが、それに先立ち「新しい福音宣教」をテーマにシノドス(世界代表司教会議)も開幕している。「教会は福音宣教するために存在しています」という教皇様の言葉に、信仰年を自らの信仰を固め、新しい福音宣教へと向かわせるための私たちが問題提起であり、信仰による教会一致への励みもあろう。

(J)

新刊書籍



クリスマスうたものがたり

『きよしこのよる』はどうして生まれたの？クリスマスイブの朝、教会のオルガンが鳴りません。「ミサのうたはどうしよう」頭を抱える神父さまに神さまのメッセージが舞い降りて...

1818年オーストリアの小さな村の教会で生まれた『きよしこのよる』誕生物語。文 中井俊己(なかい・としみ) 長崎大学卒業後、私立小・中学校に23年間勤務。現在作家・教育コンサルタント。著書に『元気が出る魔法の口ぐせ』『マザー・テレサ 愛の花束』『永井隆 平和を祈り愛に生きた医師』『平和の使徒 ヨハネ・パウロ二世』など多数。

絵 永井泰子(ながい・やすこ) 武蔵野美術短期大学、セツ・モードセミナー卒。著作に『アミちゃんの手芸ランド』全5巻等 上製 23頁定価987円(本体940円+税)

傷つけられた世界を癒すために

〜3・11後に日本で環境・原発問題について考える〜

「3・11」以後の世界へーカトリック信仰からの展望

「信仰と奉仕」と「正義の促進」は、「創造との和解」に結ばれてこそ達成される。

イエズス会社会司牧センター 編 A5判 並製 257ページ 教友社 定価:1,365円(本体1,300円+税)

告知板

高松教区 青年の集い ー遠くにいる隣人ー

期日:2012年11月17日(土)〜18日(日) 場所:カトリック中島町教会 〒780-0862 高知市鷹匠町2-1-33 TEL(088)872-3658

対象:18歳(高校生は除く)〜35歳 参加費:一般3,000円、大学生2,000円

医療法人社団聖心会 阪本病院

わたしたちは、患者様の立場に立った全人医療を行い、地域の皆様に愛され信頼される病院を目指します

院内保育園完備

私たちは、自分を創造しようとする子どもをまなび、護りましょう

暁の星学園

鳴門聖母幼稚園 高知聖母幼稚園 阿南聖母幼稚園 海の星幼稚園

